

要 求 仕 様 書

地域の系統線を活用したエネルギー面的利用実証事業
(地域マイクログリッド構築支援 マスタープラン作成事業)

ー地域マイクログリッド構築における事業化可能性検討業務委託ー

2020年6月24日

株式会社関電工

1. 委託件名

地域の系統線を活用したエネルギー面的利用実証事業
(地域マイクログリッド構築支援 マスタープラン作成事業)
ー地域マイクログリッド構築における事業化可能性検討業務委託ー

2. 委託期間

2020年7月13日(月)～2020年9月15日(火)

ただし、株式会社関電工の「地域マイクログリッド構築支援 マスタープラン作成事業」交付決定日が2020年7月13日より遅い場合は、本業務委託の開始日を交付決定日とする。また、この場合、本業務委託の終了日は変更される場合がある。

3. 検収条件

株式会社関電工による契約の履行確認をもって検収とする。

4. 支払条件

完了一括払い。

5. 内容(仕様)

【目的】

株式会社関電工は2020年度、経済産業省補助事業「地域の系統線を活用したエネルギー面的利用実証事業(以下、地域マイクログリッド実証)」への参画を予定しており、東京電力パワーグリッド株式会社および千葉県いすみ市と共同で、いすみ市における地域マイクログリッド構築に向け、導入可能性調査および事業計画の検討を行う。

このうち、マスタープラン作成に必要なマイクログリッド構築における事業化可能性の検討に係る業務について、非常時のみならず平時の活用を通じて電力調達コストとCO₂の同時削減を実現する運用を検討し、今回の対象地域、更には将来的な他地域にも適用可能な標準事業モデルについて提案することを目的とする。

【実施内容】

(1) 地域マイクログリッド構築における事業化可能性検討

- a. 事業費(設備投資費用、運用費用等)と収益(委託費、売電収入、リソース運用収入等)を算定し、事業採算性の評価を行う。
- b. 事業費の低減策や収益向上策などの事業採算性向上策を立案する。
- c. 有望な事業スキームについて、事業化に向けた資金調達のあり方を検討する。
- d. 補助対象設備及び再生可能エネルギー発電設備の平時の活用方法を明確化する。
- e. 将来的に他地域でも活用可能な標準事業モデルについて検討・立案する。

(2) その他関連業務

- a. 平時における需給調整シミュレーション関連業務に関して、当社指示のもと、需給データの整理およびリソース最適運用方式の検討を行う。
- b. その他、事業化可能性検討に必要であり、且つ当社が指示する業務を実施する。

(3) マイクログリッドエリア

本事業におけるマイクログリッドエリアは以下の図の青線の範囲とする。特殊な負荷の使用はないため、需要規模等は推定の上、システム構成を提案すること。



(4) 報告書の作成

- (1),(2)で実施した各検討内容をまとめ、委託終了期間までに提出すること。

(5) その他

- a. 各検討に必要なデータ等について
上記業務遂行に必要なデータ等は当社から供与するが、当社が保有していないデータ等については、当社の指示に基づき委託先にて収集を行う。
- e. その他
本仕様書に記載されていない不測の疑義が生じた場合には別途協議し、その決定に従うものとする。

6. 本件に関する照会先

株式会社関電工 戦略技術開発本部 宮本、古舘、神尾

電話番号：03-5476-3537、メールアドレス：info_lpgg@kandenko.co.jp

以 上